

博物館だより

M U S E U M



博物館 TEL 63-1122

いにしえの大集落跡「長者屋敷遺跡」

現在開催中の企画展『八幡平市松尾・長者屋敷遺跡 ―長者の清水とともに生きた歴史―』では、これまでの出土資料に加え、令和元年度の調査で出土した資料を初めて展示し、長者の清水と共に生きた人々の歴史を紹介しています。

■開催日時 12月8日(火)までの午前9時から午後4時半(入館は4時)まで ※休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)

◆長者屋敷遺跡とは

名水「長者屋敷清水」が湧き出る長者屋敷公園一带に



建て替えが行われた竪穴住居跡(規模約3㎡)

広がる遺跡で、古くから土器や石器が出土する所で知られています。昭和53、54年に県埋蔵文化財センターが発掘調査し、豊富な湧水や水系を背景に、縄文時代から平安時代まで長期間営まれた大規模集落跡であることが判明しています。

◆住居跡や土器などが多数出土

元年度、配水管などの敷設工事に伴って行われた緊急発掘調査では、縄文時代中期(約4,000~4,500年前)の竪穴住居跡6棟が見つかり、高嶺沢沿いに営まれた集落の一部であることを確認しました。この中には住居跡が重なった状態で見つかったものもあることから、住居を建て替えていたと考えられます。出土した遺物は縄文土器を中心に、石器など合わせて40%収納コンテナ約5箱分で、動物形土製品も見つかっています。



出土した動物型土製品(高さ3㎝)

図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆「もしサポ岩手」始めました

市立図書館は、県が提供する新型コロナウイルス感染拡大防止サービス「もしサポ岩手」に参加しています。

図書館利用者の感染が判明し、県が不特定の人への感染の恐れがあると判断した場合に、県のLINE公式アカウント「岩手県-新型コロナ対策パーソナルサポート」を活用して感染症拡大防止に向けたお知らせなどをするサービスです。図書館入り口やカウンターなど、館内に掲示しているQRコードを読み込むことで登録できます。

「もしサポ岩手」の詳細は、県ウェブサイトで確認してください。

県ウェブサイト
QRコード



館内に登録方法の案内を掲示しています

◆新着ピックアップ

『珪藻美術館』

文・写真／奥修、出版／福音館書店

水中に生える藻の1種「珪藻」はガラスの殻を持っています。1ミリの10分の1より小さい殻を集めて作られた美しい「珪藻アート」の児童書です。



『浮世絵の解剖図鑑』

著／牧野健太郎、出版／エクスナレッジ

1枚の浮世絵から見えてくる江戸の街をタイムスリップ気分でのぞいてみれば―。創意工夫や遊び心あふれる江戸っ子たちの暮らしぶりを紹介するガイドブックです。

